

5 【 尚絅学院中学校・高等学校 】

尚絅学院中学校・高等学校

校歌

土井 晩翠 作詞
佐々木 英 作曲

橄欖山の夕暮れの

歌今遠し二千年

山は裂くるも揺ぎなき

愛と望と信の道

聖き教の御光を

ここにやしまの東北

大和撫子姫百合の

花に蕾に浴びしめよ

金華松島塩釜の

ゆかりの郷の春と秋

色も匂も大能の

御手の描ける跡とみて

酌めど尽きせぬ意を探る

身は清曉の露含み

風に香を吐く白薔薇

塵に染まぬを理想とて

三 青葉広瀬をまのあたり

錦穿ちて絅尚う

深き警心して

教の庭にいそしめる

嗚呼わが姉妹知を集め

操を磨け天地の

神の御栄光現して

道と邦とにつくす迄

私達が卒業した尚絅女学院（現尚絅学院）中高部は、26年前の1892年に創立されました。現在は幼稚園、中学校、高等学校、大学そして大学院をもつ学院となっております。キリスト教主義の女学校として創立25年を迎えた1917年（大正6年）に、土井晩翠先生作詞・佐々木英先生作曲による「校歌」が作られました。

2003年に大学が新設され尚絅学院と改称、2010年に新しい「学院歌」が制定されました。中学校・高校も2008年に共学となり「校歌」は歌われなくなりましたが、中学・高校の合唱団が歌い継いでいます。

尚絅学院同窓会「ぶどうの会」は、同窓会会員の中から「賛美歌を歌う会が欲しい」という願いが寄せられ、2004年11月に発足しました。賛美歌・校歌・学院歌・楽しい歌等を歌い練習（年間10回）をして、毎年「シオンの園」「ありのまま舎」で訪問コンサートを行い、同窓会の行事でも歌っています。

尚絅の精神が盛り込まれている校歌は、全員大好きで、生き方の指針となっております。今回は中高生が出演できず淋しいですが、私達「ぶどうの会」がお届けいたします。